

「相談できる薬局」をいち早く開設

「くすり・健康・食事」のお悩みを受付
地域の皆様に健やかな毎日を…

青横ファーマシー薬局



旧東海道沿いに2019年10月オープンの店舗

利用いただける薬局づくりに努めた。

バブル崩壊と言われた1991年以降長引く平成不況の中も、調剤薬局の開設は毎年右肩上がりが続いた。介護保険がスタートした2000年には、薬を管理する居宅療養管理指導の介護保険サービス事業を立ち上げ、福祉の方々とも連携を図った。地域活動を考えた薬局機能を突き詰めたところ、「管理栄養士」の必要性を感じ、今では全店舗に配置するに至っている。4年前からスタートした品川区委託事業の「栄養改善事業」に伴って、「くすり・健康・食事」を薬局業務のテーマに掲げ、薬剤師、管理栄養士、登録販売者が、地域の皆様からのどんなご相談にも応えられるよう日々研鑽を積んでいる。

病院やクリニックで診察を受け処方箋を渡され、近所の薬局に行くことは今やごく当たり前の流れである。アペックス（品川区東品川、伊藤豊代表取締役、03・3472・2562、<http://www.apx.co.jp/>）は、1986年9月より品川区東品川で「クリーン薬局」を開設し、いち早くこの医薬分業による調剤薬局をスタートした。

それから1990年までに、品川、立川、新小岩で3店舗を開設したものの、「調剤の仕事しかない薬局が、本当の薬局と言えるか？」と自問自答していたとき、その答えを追究したのが1991年11月に開設した「青横ファーマシー薬局」だ。

同薬局には、胃薬・風邪薬・目薬・粉ミルク・化粧品と調剤以外の商品も取揃え、「健康・病气・美容」のご相談に対しアドバイスする「相談できる薬局」をめざし、日曜日



キッズスペースも設置、居心地のよい薬局内

も営業して地域の方々が気軽にこ